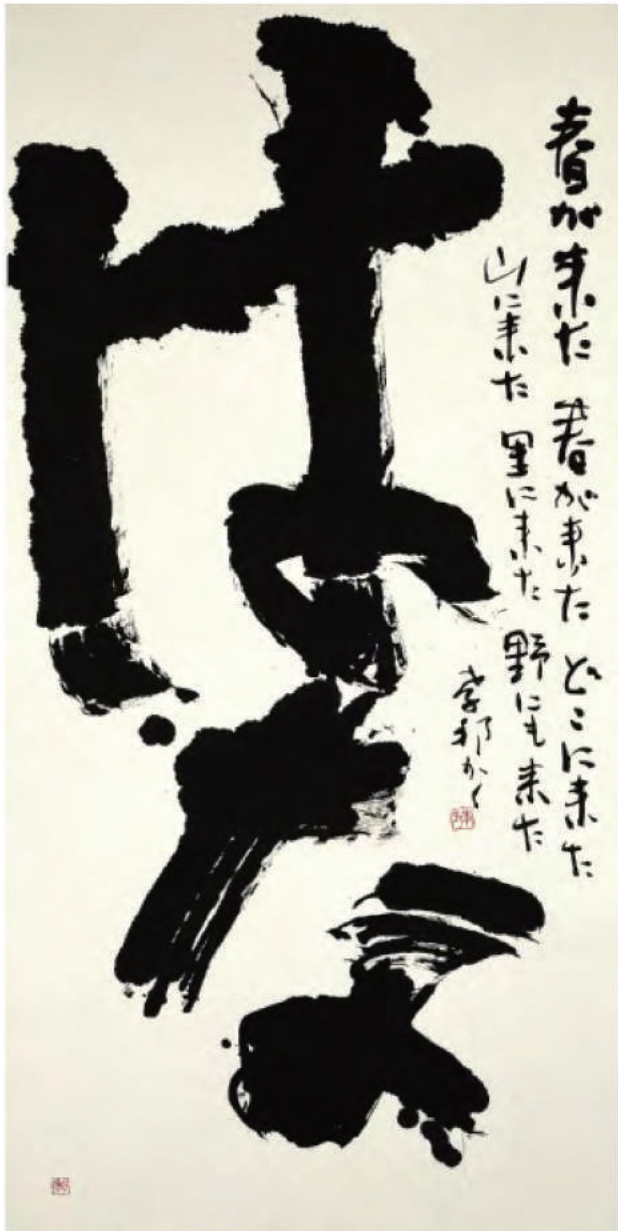
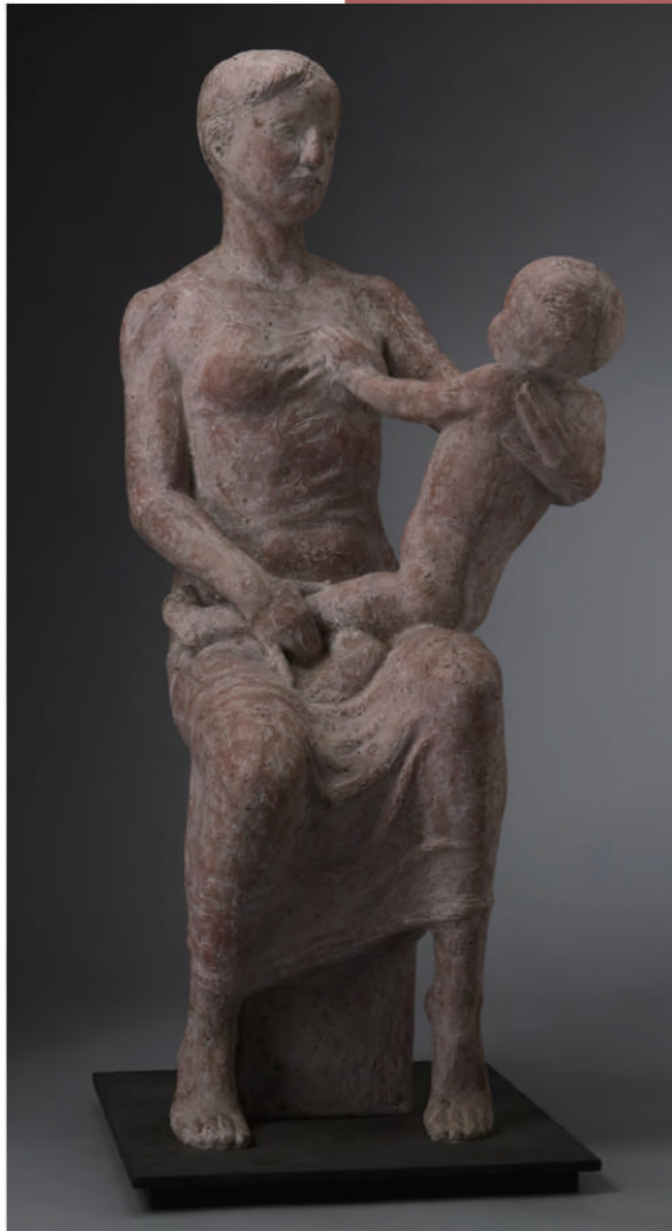


生の流れ—そのつながり



津金孝邦《はな》2007年



立川義明《はざま-母・子》1993年

作家は、自然や生きとし生けるものの多様な「生」を対象とする中で、自らの表現を作品へと託します。作品を通して表現された「生」の流れ、作家の思考の軌跡、鑑賞者が抱くイメージの変化など、様々な流れが時間を越えて豊かにつながっていきます。

茅野市美術館はこれまで地域にゆかりのある作家の作品を収集・展示してきました。第4期収蔵作品展では、それらのつながりをテーマにこれまで当館の企画展にて特集してきた作家5名の作品をとりあげます。

2021年1月10日[甲]-3月25日[木]
茅野市美術館 常設展示室 開館時間=10:00-18:00

- 観覧料=無料
 - 休館日=毎週火曜日(ただし火曜日が祝日の場合は、その直後の休みでない日)
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、変更等が生じる場合がございます。

- 富永直樹(彫刻家・1913-2006)
- 立川義明(彫刻家・1918-2017)
- 津金孝邦(書家・1929-)
- 中村悟郎(写真家・1940-)
- 藤森民雄(彫刻家・1954-)



富永直樹
《僕らの遊び場》
1993年

Chino City
Museum
of Art
あなたにつなぐ
あなたからつながる

●主催・お問い合わせ
茅野市美術館 (茅野市民館内)
Tel.0266-82-8222
〒391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号
■JR中央本線 茅野駅下車、東口直結